

福村惣太夫 2018年の仕事



2019年9月17日(火)～10月19日(土)

月～土 9:00～18:00 日・祝 9:00～17:00 会期中無休・入場無料



Galerie
ギャラリー・panse
Pensee

甲南大学では毎年、国内外で活躍する作家の展覧会を行っています。この展覧会の企画・運営は、博物館実習生が中心となって取り組んでいます。今年は、80歳を越えた今も精力的に活動する福村惣太夫（ふくむら・そうだゆう）氏を招き、展覧会を開催いたします。

1936年生まれの福村惣太夫氏は、京都府亀岡市にある社会福祉法人松花苑が運営するグループホームで暮らしています。グループホームへの入居以前は、同法人の障害者支援施設「みずのき」（旧みずのき寮）に長年暮らしていました。みずのき寮では、1964年から日本画家・西垣籌一氏の指導による絵画教室を開設していました。福村氏は「絵画教室」の開設当初からの中心的メンバーの一人でした。

西垣氏の逝去後、それまでの絵画教室は終了し、現在につながる「みずのきアトリエ」が開設され、福村氏はグループホームでもアトリエでも制作を続けています。本展では2018年の1年間に制作された約80点の作品から、福村氏の現在に迫ります。

また、亀岡市のみずのき美術館においても、福村氏の絵画教室時代の初期作品、練習作品、1980年代の代表作品などを紹介する展覧会を同時期に開催します。ぜひ併せてご覧ください。

福村惣太夫

（ふくむら・そうだゆう / Fukumura Soudayu）

1936年生まれ、京都府亀岡市在住。

近年の主な展覧会：2019年「アール・ブリュット再考 2 展ーみずのきの色層ー」徳島県立近代美術館、2016年「みずのきアーカイブのための展覧会ー福村惣太夫・山崎孝ー1976」みずのき美術館、「福村惣太夫・山内庸資二人展ーストロークー」art space co-jin（京都）、2015年「みんなのアートーそれぞれのらしさー」みんなの森ぎふメディアコスモス みんなのギャラリー（岐阜）、2012年「開館記念展ー日本のアール・ブリュットについて語ろう 私たちが考えるこれからの美術ー」みずのき美術館

関連企画 トークイベント

「福村惣太夫とみずのきーその歴史と現在」

10月14日（月・祝）14：00～16：00

ゲスト

奥山 理子（みずのき美術館キュレーター）

森 太三（美術家・みずのきアトリエ講師）

聞き手

服部 正（甲南大学文学部）

会場

甲南大学5号館1階511教室（ギャラリー横）

聴講無料・予約不要

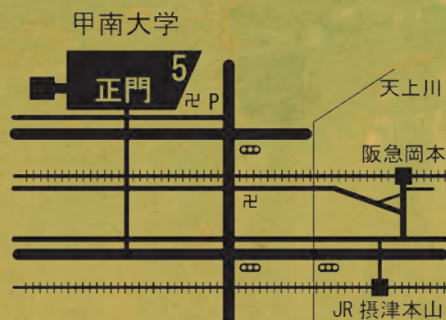
甲南大学ギャラリー・パンセ（甲南大学5号館1階）

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

阪急神戸線岡本駅より西へ徒歩10分、JR神戸線摂津本山

山駅北口より北西へ徒歩12分

※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。



お問い合わせ先) 078-435-2572 (担当教員：服部) / 078-435-2675 (文学部事務室)

連携企画 「福村惣太夫展ー掘るように描くー」

会場 みずのき美術館

会期 2019年9月7日（土）～12月8日（日）

休館日 月・火曜日（祝日の場合は開館）

開館時間 10：00～18：00（入館は閉館30分前まで）

入場料 一般400円／高大生200円／中学生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方（付添者は原則1名まで）は無料

主催 きょうと障害者文化芸術推進機構（京都府）

社会福祉法人松花苑みずのき美術館

〒621-0861 京都府亀岡市北町18

www.mizunoki-museum.org

図版はすべて 福村惣太夫 《無題》 2018年（表裏とも）

このチラシは授業の一環として博物館実習生がデザインしました